



## 見どころ 1

### 地震に強い優れた耐震性をもつ「SE構法」を採用



#### 強度が高く品質の安定した「構造用集成材」を採用

SE構法の構造躯体に使用する木材には、全て十分に乾燥され、性能が安定した「構造用集成材」が使われています。



#### 柱と梁の接合部の断面欠損が少ない

SE構法では、特殊な金物を使うことで、断面欠損が少ないというメリットがあります。また、乾燥している集成材をボルトやドリフトピンで強固に接合しているので、「連続した揺れ」に対して非常に強い構造です。



#### 柱の引き抜き強度が高い

SE構法では、「柱脚金物」という特殊な金物で、基礎と柱が直接連結しているため、その引き抜き強度が大きく向上しています。

## 見どころ 2

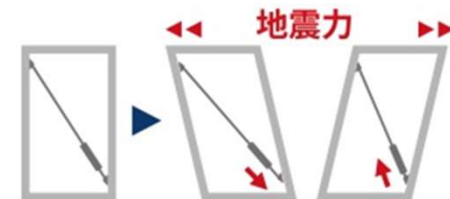
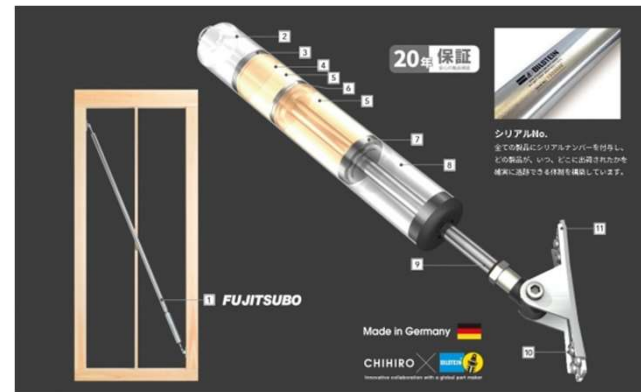
### 学校や病院と同等の耐震等級3を確保

<p><b>建築基準法 水準</b></p> <p>数百年に一度程度の地震でも倒壊しない程度の耐震性</p> <p>耐震等級 1</p>	<p><b>長期優良住宅認定 水準</b></p> <p>建築基準法の1.25倍の耐震性</p> <p>耐震等級 2</p>	<p><b>松栄の家</b></p> <p>建築基準法の1.5倍の耐震性</p> <p>最高ランク</p> <p>耐震等級 3</p> <p>地盤保証!</p>
--	--	--

建物を強くするため、外周全体と内側にも合板を貼って強度を高めています。

## 見どころ 3

### 地震時の揺れを瞬時に吸収する「制振ダンパー」を装備



自動車用ショックアブソーバーの技術をもとにした木造用の制振装置です。地震時の揺れを吸収する効果があります。